

「令和6年能登半島地震」における 気象庁機動調査班（JMA-MOT）による 津波に関する現地調査の結果について

気象庁では気象庁機動調査班（JMA-MOT）を派遣し、1月11日から1月20日にかけて、津波観測点付近や津波による顕著な被害があった地点において津波の痕跡等を調査しましたので、その結果をお知らせします。

1. 調査地点と推定した津波の高さ

調査を行った地点と津波の高さは、以下のとおりです。

表1 調査地点と推定した津波の高さ

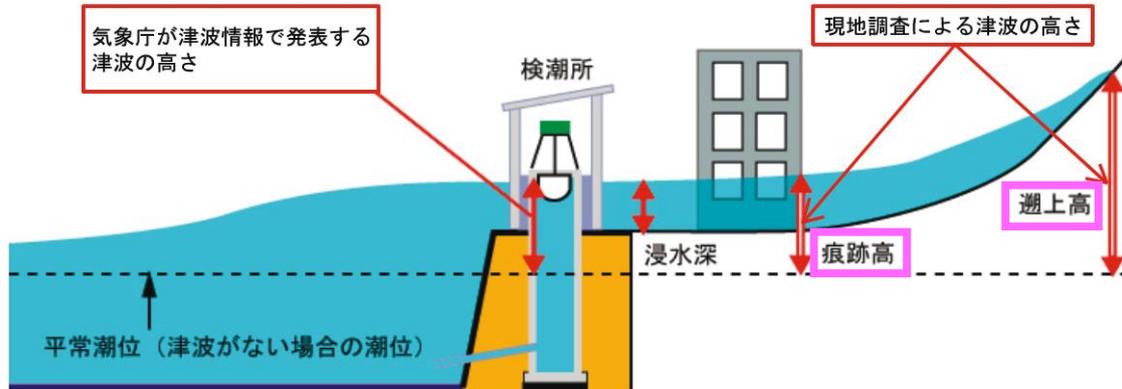
都道府県	調査地点名	推定した津波の高さ	津波高の種類
新潟県	上越市柿崎漁港	2.9m	遡上高
新潟県	上越市船見公園	5.8m	遡上高
新潟県	上越市直江津海水浴場	4.5m	遡上高
新潟県	佐渡市羽茂港	3.8m	痕跡高
新潟県	佐渡市小木港	1.9m	痕跡高
富山県	朝日町宮崎漁港	1.4m	痕跡高
富山県	射水市海竜新町	1.5m	遡上高
石川県	珠洲市飯田港	4.3m	痕跡高
石川県	珠洲市鵜飼漁港	2.7m	痕跡高
石川県	珠洲市見附公園	2.9m	痕跡高
石川県	能登町恋路海岸	1.7m	遡上高
石川県	能登町松波漁港	3.1m	痕跡高
石川県	能登町内浦総合運動公園	4.0m	痕跡高
石川県	能登町白丸	4.7m	痕跡高
石川県	能登町九十九湾	2.2m	痕跡高
石川県	能登町宇出津港	1.3m	痕跡高
石川県	七尾市鵜浦漁港	1.8m	痕跡高
石川県	七尾市下佐々波漁港	2.2m	遡上高
石川県	輪島市舳倉島漁港	2.9m	痕跡高

※推定した津波の高さは速報値であり今後の精査により変更となる可能性があります。

※「遡上高」「痕跡高」については、参考資料参照。

なお、1月1日16時10分の地震（マグニチュード7.6）発生後に欠測となっていた津波観測点付近（輪島港及び珠洲市長橋）では、津波による浸水の痕跡は認められませんでした。

<参考資料>



気象庁が発表する「津波の高さ」は、沿岸における平常潮位（津波がない状態の海面）からの高さを指します。

この他に、津波が内陸へ駆け上がった高さである「遡上高」や、津波が去った後に建物などに残された痕跡の高さ「痕跡高」などがあり、これらの高さは「津波の高さ」で発表した値よりも高くなることがあります。

【津波について：<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/faq/faq26.html>】

2. 調査を実施した地点

調査を実施した地点は、以下のとおりです。



図1 調査地点

今回の津波の現地調査については、気象庁も土木学会（海岸工学委員会）を中心に組織された「能登半島地震津波調査グループ」に参画して、調査を実施しています。

【令和6年能登半島地震津波に関する調査報告会（2024年1月27日（土））】

<https://coastal.jp/session20240127/>

3. 確認した津波の痕跡の例

〔黄色線： 痕跡または漂着物が認められた位置を示す〕



上越市船見公園（新潟県）〈遡上高〉



珠州市見附公園（石川県）〈痕跡高〉



能登町白丸（石川県）〈痕跡高〉

本件の問い合わせ先：

地震火山部地震津波監視課 電話：03-3434-9041